



庶民の会  
林田 勉 議員

**問**  
旧「堀部邸」を民泊施設の軸にして、体験型観光で人を呼び込もう！

**Q** 今流行の体験型観光とは。

**A** 地域の自然や文化、伝統に触れながら旅行をすること。地域の魅力を商品化することで国内外からの来訪・滞在へつながると思う。

**Q** 島原市でも民泊という形式を取り入れてはどうか。

**A** 現在、旅行者のニーズが多様化している。既存の宿泊施設との共存も可能であると思う。

**Q** 旧堀部邸を軸にして市民へも民泊のノウハウを伝え、自ら稼げる施設にして、都市部から体験型観光で人を呼び込めないかと考えるがどうか。

**A** 大変興味深く面白い提案。堀部邸は観光資産としては十分であり、民泊の位置づけができるのではないかとと思う。

**問**  
罰則が強化された・自転車の交通安全対策について

**Q** 改正道路交通法（自転車運転者講習制度）とは。

**A** 平成27年6月から悪質・危険な自転車運転者への講習制度が始まっている。

**Q** 学校や市民への指導と周知は。

**A** 学校では法の施行時に周知したが、再度指導をしていきたい。市民へもルールを再確認する上で、回覧板等で啓発していきたい。

**Q** 自転車事故が高額賠償になるケースがある、保険加入への周知も大事と思うが。

**A** 損害賠償保険の加入促進も啓発していきたい。

**問**  
年金支給開始延期と定年延長に伴う再任用の状況について

**Q** 市と学校職員の再任用の状況と、市民・子供へのメリットと内部での評価はどうか。

**A** 市職員の再任用はないが非常勤職員として3名雇用し、長年の勤務経験を生かしてもらっている。市内教職員の再任用は教諭13名、事務1名で、非常に助かっているとの声も聞いている。



バラの会  
楠 晋典 議員

**問**  
公共交通は残せるか  
島鉄北目線の今後は  
南目跡地の活用は

**Q** 再生計画がなされる島鉄へ支援体制は継続できるか。本市としての姿勢に変化があるのか。

**A** 取締役を退任する方向だが、事業再生計画の基本方針では地元自治体などとの対話や協業関係を一層強化する方針が示されている。地元の市長として、公共交通を残すことや鉄道の北目線を残すこと、さらには本市の中心市街地に本社やその機能的な商業施設等もあるので、本市の中心市街地を活性化させることや島原鉄道の約300名の従業員をはじめ、家族の生活を支援することは継続的に行う必要がある中で、市長という立場で意見や考えを申し上げていく決意である。

**問**  
選挙投票率の向上のため、投票所はどうあるべきか

**Q** 商業施設のイオンでの期日前投票所の成果はどうだったか。

**A** 期日前投票者数は全体では8889人で、うちイオン島原店が4364人と、期日前投票所においては一番多く、全体の約半数を占めた。買い物ついでに投票をする方も多く、投票率の向上に効果があった。

**問**  
漁業者支援について

**Q** 平成30年2月1日から漁船を含めた小型船舶の船長に対して、乗船する全ての者にライフジャケットを着用させることが義務化される。動きやすいライフジャケットの購入補助はできないか。

**A** 操業への負担を軽減することができるタイプのライフジャケットもある。共同購入などによる安価な購入方法の可能性などについて、漁業協同組合等とも相談をしたい。

【その他の質問項目】  
◇公共施設の料金改定後の状況は